

タンネウシ

4
月号

知床博物館講演会

「アムール川が育む豊かな海・オホーツク」が開催されました。

- 3/19に開催された中塚武さん（北大低温科学研究所助教授）の講演会には、近郊の街からの参加者を含め58名のみなさんが聴講されました
- オホーツク海の豊かさはアムール川から大量に供給される「鉄」が大きな役割を果たしていること。栄養分に満ちた海水は流水との関わりの中で中層水となって海の中層を南下しオホーツク海南部へ到達すること。鉄の供給にはアムール川流域の湿原や森林が重要だが、中国の開発で著しく減少していること等について、図やイラストを使ってわかりやすく説明されました。
- 講演後の質疑応答も活発に行われ、世界遺産・知床の自然を支える海・オホーツク海の豊かさがどのようにして成り立っているのかを知ることができました。



流水の海の動物観察会 アザラシの群れに遭遇！



流水の上のゴマフアザラシ

2月25日（日）に船から見る「流水の海の動物観察会」を羅臼町教委と共催で開催しました。この日の羅臼沿岸にはほとんど流水がありませんでしたが、少し沖には流水の帯が漂っており、そこに200頭ほどのゴマフアザラシを見ることができました。ほとんどの個体は氷の上での昼寝を続けていましたが、流水から滑り降りて泳ぐアザラシや、頭だけ出してこちらを見ているアザラシもあり、参加した子供たちはひょうきんなアザラシの姿に歓声を上げていました。流水の上にはオオワシやオジロワシもたくさん見られました。



子どもたちとアザラシたちが洋上で対面

会員サービス

●絵はがき「冬のももんが」を同封いたしました●これは、福音館発行「ちいさなかがくのとも」2004年2月号として発売された「ねむたい ねむたい ももんがたち」の絵です●あかしのぶこさん（本名 増田信子さん）は、町内在住の絵本作家、みなさんで応援して下さい●彼女の次作は来月に発売される「ちいさなかがくのとも」2006年5月号「じっと じっと」です。野ウサギの兄弟のことが描かれています●発売が楽しみです。

5月の博物館講座

- 5/21(日) 9時～12時 海岸林観察会
 - 5/27(土) 19時～20時30分 春の星座と土星・木星観察会
- 5月中旬 ウトロ遺跡見学・説明会 詳細については次号でお知らせいたします。